

科目名		地理総合			単位数	2	履修区分	必履修
対象の部		午前部	午後部	夜間部	使用教科書 教材	帝国書院『高校生の地理総合』 帝国書院『標準高等地図』		
履修の条件								
先生からのアドバイス		皆さんは、新聞やテレビ、インターネットを通じて、さまざまな国の情報を知ることができます。その情報量は膨大で、ときには混乱してしまうこともあります。地理総合の授業では、地理的な語句や考え方を理解し、世界の国々や地域について主体的に学ぶ力を身につけていきます。						
評価の観点		知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学ぶ態度				
観点の内容		地理に関わる諸事象に関して、世界の空間的な諸事象の規則性や、世界の諸地域の地域的特色や課題などを理解しているとともに、地図や地理情報システムなどを用いて、諸資料から地理に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けている。	地理に関わる諸事象の意味や意義、特色や相互の関連を、系統地理的、地誌的に概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、地理的な課題の解決に向けて構想したり、考察、構想したりしたことを効果的に説明したり、議論したりする力を身に付けている。	地理に関わる諸事象について、国家及び社会の形成者として、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に探究しようとしている。				
評価方法	学習状況の観察	△	△	◎				
	プリント	△	△	◎				
	提出物	△	△	○				
	定期考査	◎	◎	○				
学期	月	学習内容(単元名)	評	価	規	準		
前期	4	1 地図や地理情報システムと現代社会	地球儀やさまざまな図法の地図から現代社会の姿を読みとり、地理情報システムの役割を理解している。世界の国々の結び付き方、交通、通信、人の移動の特徴を理解している。	地図の特徴、地理情報システムのりようについて、多面的多角的に考察し、表現している。	目的に応じた地図や地理情報システムの利活用について、主体的に追究し、課題を見出している。	国家の領域、領土問題、交通、通信、人の移動について、地図を通して多面的多角的に考察し表現している。		
	5	2 結び付きを深める現代世界	自然環境や社会環境を背景に、生活文化の相互関係を見出すための、地理的見方考え方を身に着けている。	地形、気候、産業の発展歴史など生活文化の多様性はどのように形成されたか多面的多角的に考察し表現している。	多様な生活文化を尊重し、共生を図っていくことについて、主体的に追究し、課題を見出している。			
	6	定期考査 ①						
	7	3 生活文化の多様性と国際理解						
	9							
後期	10	4 地球的課題と国際協力	地理的課題が生じている場所や要因、課題同士が相互に関係しあっていることを理解している。	地理的課題の解決のための取り組みについて、多面的多角的に考察し表現している。	持続可能な開発を実現するための取り組みや国際協力のあり方について、主体的に追究し、課題を見出している。			
		定期考査 ②						
	11		自然災害が生じる場所と要因、自然災害の特徴、防災・減災への取り組みを理解している。	自然災害が生じる場所と要因、自然災害の特徴、防災・減災への取り組みについて、多面的多角的に考察し表現している。	自然環境には災害と恩恵の両面があり、人々が生活していくうえで必要な防災・減災の備えについて、主体的に追究し、課題を見出している。			
	12	5 自然環境と防災						
	1	定期考査 ③						
期	2	6 生活圏の調査と地域の展望	生活圏の調査にあたって、仮説の立て方、検証方法、発表の仕方を理解し、その技能を身につけている。	事前調査の結果から、仮説、分析、整理、比較し、どのようなことがいえるか、多面的多角的に考察し表現している。	調査結果を地域に還元し、よりよい社会を築いていくことについて、主体的に追究し、課題を見出している。			
	3							

科目名		地理探究		単位数	4	履修区分	自由選択
対象の部		午前部	午後部	使用教科書 教材	帝国書院『新詳地理探究』 帝国書院『標準高等地図』		
履修の条件		「地理総合」の単位を修得済みであること。					
先生からの アドバイス		皆さんが生きる21世紀、世界はさらに結びつきを強め、皆さんが世界と関わる機会も増えるでしょう。地理を学ぶことは、自分自身と世界とのつながりを理解し、視野を広げることにつながります。地理探究では、地理総合の基礎の上にさらに学びを深め、考える力・生き抜く力を高めていきます。					
評価の観点		知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学ぶ態度			
観点の内容		地理に関わる諸事象に関して、世界の空間的な諸事象の規則性や、世界の諸地域の地域的特色や課題などを理解しているとともに、地図や地理情報システムなどを用いて、諸資料から地理に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けている。	地理に関わる諸事象の意味や意義、特色や相互の関連を、系統地理的、地誌的に概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、地理的な課題の解決に向けて構想したり、考察、構想したりしたことを効果的に説明したり、議論したりする力を身に付けている。	地理に関わる諸事象について、国家及び社会の形成者として、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に探究しようとしている。			
評価方法	学習状況の観察	○	○	◎			
	プリント	○	○	◎			
	提出物	○	○	○			
	定期考査	◎	◎	○			
学期	月	学習内容(単元名)	評	価	規	準	
前期	4	1 自然環境 ・地形 ・気候	自然環境、資源と産業、交通・通信、観光・貿易、人口、都市・村落、生活文化、民族・宗教などに関わる諸事象をもとに、それらの事象の空間的な規則性、傾向性や、地球環境問題・社会問題などの現状や要因、解決に向けた取り組みなどについて理解している。	自然環境、資源と産業、交通・通信、観光・貿易、人口、都市・村落、生活文化、民族・宗教などに関わる諸事象について、主題を設定し、それらの事象の空間的な規則性、傾向性や、関連する地球的課題の要因や動向などを多面的・多角的に考察し、表現している。	自然環境、資源と産業、交通・通信、観光・貿易、人口、都市・村落、生活文化、民族・宗教などについて、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究しようとしている。		
	5	・日本の自然環境 ・地球環境問題					
	6	2 資源と産業 ・農林水産業、食料問題 ・エネルギー、資源問題					
	7	定期考査 ① ・工業 ・第3次産業					
	9	3 交通・通信と 観光・貿易 4 人口、都市・村落					
後期	10	5 生活文化、 民族・宗教 定期考査 ②	いくつかの地域に区分した現代世界の諸地域をもとに、諸地域にみられる地域的特色や地球的課題などについて理解している。 現代世界におけるこれからの日本の国土像の探究をもとに、我が国が抱える地理的な諸課題の解決の方向性や将来の国土の在り方などを構想することの重要性や、探究する手法などについて理解している。	現代世界の諸地域について、主題を設定し、地域的特色や地球的課題などを多面的・多角的に考察し、表現している。 現代世界におけるこれからの日本の国土像について主題を設定し、我が国が抱える地理的な諸課題の解決の方向性や将来の国土の在り方などを多面的・多角的に探究し、表現している。	現代世界の諸地域について、よりよい社会の実現を視野に、そこで見られる課題を主体的に追究しようとしている。 持続可能な国土像の探究について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に探究しようとしている。		
	11	6 現代世界の 諸地域 ・中国・韓国					
	12	・ASEAN諸国・インド ・西アジアと中央アジア ・北アフリカと中南アフリカ					
	1	・EU諸国・ロシア 定期考査 ③					
	2	・アメリカ合衆国 ・ラテンアメリカ ・オセアニア					
3	7 持続可能な 国土像の探究						

科目名		歴史総合		単位数	2	履修区分	必履修
対象の部		午前部	午後部		使用教科書 教材	明解 歴史総合 (帝国書院)	
履修の条件							
先生からの アドバイス		江戸時代末期、ペリーの来航から現代にかけての歴史を中心に学習します。現代の日本は過去の歴史の積み重ねの上に成り立っています。歴史を学ぶことは自分自身の成り立ちを学ぶことでもあります。					
評価の観点		知識・技能		思考・判断・表現		主体的に学ぶ態度	
観点の内容		我が国及び世界の形成の歴史的過程と生活・文化の地域的特色についての基本的な事柄を理解し、その知識を身につけている。		歴史的事象から課題を見だし、世界の形成の歴史的過程と生活・文化の地域的特色を世界史的視野に立って多面的・多角的に考察し、国際社会の変化を踏まえ公正に判断して、その過程や結果を適切に表現している。		歴史的・地理的事象に対する関心と課題意識を高め、国家・社会を形成する日本国民としての責任を果たそうとする。	
評価方法	学習状況の観察	○		○		◎	
	提出物	○		○		◎	
	定期考査	◎		○		○	
学期	月	学習内容(単元名)		評価規		準	
前期	4	江戸時代の日本と結びつく世界		近世前半までを基本的・骨格的な項目に基づいて概観し、理解する。 資料集・地図帳・年表などを活用して学ぶことができる。 また、様々なメディアから資料を収集し、有用な情報を主体的に活用できる。	欧米文化の影響を受けながら、近代国家として成立し発展していった過程を考察する。 政治、経済、社会、文化などの特色やその推移を考察する。	近世前半以前について関心を持ち、意欲的に学ぼうとする。 16世紀以降の世界の一体化の過程に関心をいだき、積極的に授業に参加できる。 近代日本について関心を持ち、意欲的に学ぼうとする。	
	5	国民国家の形成 日本の近代化					
	6	第一次世界大戦					
	7	定期考査 ① 第二次世界大戦と日本					
	9	第一次世界大戦					
後期	10	再出発する世界と日本		地球規模で一体化した現代世界の特質と展開過程を理解できる。 2つの世界大戦に至る我が国の内政・外政及び、世界各国の内政・外政を理解する。 今日に至った過程について、世界の動向との関連に留意して理解する。	世界の動向と日本のかかわりに着目し人類の課題について考察できる。 2つの世界大戦を通して、国民生活や国民意識がどのように変化したか考察する。 戦後の民主化と復興、国際社会への復帰、経済の発展と現代の日本について、世界の動向と関連付けて考察させるとともに、我が国の課題と役割について認識する。	現代世界における、人類の課題に関心をもち、積極的に授業に参加できる。 第二次世界大戦後の我が国について関心を持ち、意欲的に学ぼうとする。	
		定期考査 ②					
	11	冷戦で揺れる世界と日本					
	12						
	1	多極化する世界					
	2	定期考査 ③					
後期	2	グローバル化のなかの世界と日本					
	3						

科目名		日本史探究		単位数	4	履修区分	自由選択
対象の部		午前部	午後部	使用教科書 教材	清水書院『日本史探究』		
履修の条件		「歴史総合」の単位を修得済みであること					
先生からの アドバイス		日本史探究では、世界史のとの関連を踏まえながら古代から現代までの日本の歴史の歩みを総合的に学習します。歴史をイメージできるよう映像等の教材もふんだんに取り入れていきます。					
評価の観点		知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学ぶ態度			
観点の内容		我が国及び世界の形成の歴史的過程と生活・文化の地域的特色についての基本的な事柄を理解し、その知識を身につけている。様々な資料から得られる情報を適切に選択し、効果的に活用している。	歴史的・地理的事象から課題を見だし、我が国及び世界の形成の歴史的過程と生活・文化の地域的特色を世界的視野に立って多面的・多角的に考察し、国際社会の変化を踏まえ公正に判断して、その過程や結果を適切に表現している。	歴史的・地理的事象に対する関心と課題意識を高め、意欲的に追求するとともに、国際社会に主体的に生き国家・社会を形成する日本国民としての責任を果たそうとする。			
評価 方法	学習状況の観察	◎	◎	◎			
	提出物	○	○	○			
	ノート・プリント	○	○	○			
	定期考査	◎	◎	○			
学期 月	学習内容（単元名）	評 価 規 準					
前 期	4	1 原始・古代の日本と東アジア 古代国家の形成と東アジア	<ul style="list-style-type: none"> 日本の原始・古代の社会と文化について、東アジア世界の動向とも関連付けて理解する。 武家政権の成立から展開について、世界的視野に立って理解する。 資料集。地図帳・年表等を活用して学ぶことが出来る。 	<ul style="list-style-type: none"> 東アジアからもたらされた制度や文物が大きく影響していることに留意し、日本の原始・古代の国家・社会・文化の形成について総合的に考察する。 武士が政治力をつけていく過程を国内諸地域の地理的条件とも関連付けて考察する。 ヨーロッパ世界との接触とその影響、鎖国などの対外関係について多面的に考察する。 	「原始古代の日本」「武家政権の成立から展開」等について、興味・関心を持ち意欲的に学ぼうとしている。		
	5	2 中世の日本と世界 武家政権の成立と展開					
	6	定期考査 ①					
	7	武家政権の変容と中世の社会					
	9	近世の日本と世界 幕藩体制の成立と近世の社会					
	10	幕藩体制の動揺と社会の変化					
後 期	11	定期考査 ② 近現代の地域・日本と世界 近代国家の形成	<ul style="list-style-type: none"> 開国後の近代日本の歩みを当時の国際環境と関連付けて考察する。 軍国主義化していく日本の動向と世界情勢について多角的・多面的に考察する。 戦後の民主化と復興、経済の発展と現代の日本の諸課題について考察する 	「ペリー来航から明治時代」「満州事変から第二次世界大戦への日本の動向」「戦後から現在に至る戦後史」等について興味・関心を持ち意欲的に学ぼうとしている。			
	12	政党政治と大衆社会					
	1	第二次世界大戦と日本の社会					
	2	定期考査 ③					
	2	現代の日本と世界					
	3						

科目名		歴史総合		単位数	3	履修区分	必履修
対象の部			夜間部	使用教科書 教材	明解 歴史総合 (帝国書院)		
履修の条件							
先生からの アドバイス		江戸時代末期、ペリーの来航から現代にかけての歴史を中心に学習します。現代の日本は過去の歴史の積み重ねの上に成り立っています。歴史を学ぶことは自分自身の成り立ちを学ぶことでもあります。					
評価の観点		知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学ぶ態度			
観点の内容		我が国及び世界の形成の歴史的過程と生活・文化の地域的特色についての基本的な事柄を理解し、その知識を身につけている。	歴史的事象から課題を見だし、世界の形成の歴史的過程と生活・文化の地域的特色を世界史的視野に立って多面的・多角的に考察し、国際社会の変化を踏まえ公正に判断して、その過程や結果を適切に表現している。	歴史的・地理的事象に対する関心と課題意識を高め、国家・社会を形成する日本国民としての責任を果たそうとする。			
評価方法	学習状況の観察	○	○	◎			
	提出物	○	○	◎			
	定期考査	◎	○	○			
学期	学習内容(単元名)	評 価 規 準					
前期	4	各地域の諸文明	近世前半までを基本的・骨格的な項目に基づいて概観し、理解する。 資料集・地図帳・年表などを活用して学ぶことができる。 また、様々なメディアから資料を収集し、有用な情報を主体的に活用できる。	欧米文化の影響を受けながら、近代国家として成立し発展していった過程を考察する。 政治、経済、社会、文化などの特色やその推移を考察する。	近世前半以前について関心を持ち、意欲的に学ぼうとする。 16世紀以降の世界の一体化の過程に関心をいだき、積極的に授業に参加できる。 近代日本について関心を持ち、意欲的に学ぼうとする。		
	5	歴史の扉 身近なものの歴史					
	6	江戸時代の日本と 結びつく世界					
	7	定期考査 ① 国民国家の形成 日本の近代化					
	9	第一次世界大戦					
後期	10	第二次世界大戦と日本	地球規模で一体化した現代世界の特質と展開過程を理解できる。 2つの世界大戦に至る我が国の内政・外政及び、世界各国の内政・外政を理解する。 今日に至った過程について、世界の動向との関連に留意して理解する。	世界の動向と日本のかかわりに着目し人類の課題について考察できる。 2つの世界大戦を通して、国民生活や国民意識がどのように変化したか考察する。 戦後の民主化と復興、国際社会への復帰、経済の発展と現代の日本について、世界の動向と関連付けて考察させるとともに、我が国の課題と役割について認識する。	現代世界における、人類の課題に関心をもち、積極的に授業に参加できる。 第二次世界大戦後の我が国について関心を持ち、意欲的に学ぼうとする。		
		定期考査 ②					
	11	再出発する世界と日本					
	12	冷戦で揺れる世界と日本					
	1	多極化する世界					
後期		定期考査 ③					
	2	グローバル化の なかの世界と日本					
	3						

科目名		世界史探究		単位数	4	履修区分	自由選択
対象の部		午前部	午後部		使用教科書 教材	第一学習社『世界史探究』	
履修の条件		「歴史総合」の単位を修得済みであること。					
先生からの アドバイス		「失敗から成功のヒントを得る」。これは歴史学習でも同じことが言えます。実は世界史には、世界中の人類が獲得してきた英知や経験がぎっしりとつまっています。現代と異なる過去の世界を学ぶことで、生きるヒントを得られるでしょう。世界史探究では、古代から現代までを広く学習していきます。					
評価の観点		知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学ぶ態度			
観点の内容		世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる諸事象について、地理的条件や日本の歴史と関連付けながら理解するとともに、諸資料から世界の歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けている。	世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる事象の意味や意義、特色などを、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、歴史に見られる課題を把握し解決を視野に入れて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を身に付けている。	世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に探究しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深めている。			
評価方法	学習状況の観察	○	○	◎			
	プリント	○	○	◎			
	提出物	○	○	○			
	定期考査	◎	◎	○			
学期	月	学習内容(単元名)	評価規準				
前期	4	1 世界史へのまなざし 2 諸地域の歴史的 特質の形成	人類の歴史と地球環境との関わりを理解している。 古代文明、東アジア・中央ユーラシア、南アジア・東南アジア、西アジア・地中海周辺の歴史的特質を理解している。 海域と内陸にわたる諸地域の交流・交易の広がり、ヨーロッパの進出、アジア諸地域の特質、主権国家体制の形成と地球規模での交易の拡大などを構造的に理解している。 資料から情報を読み取ったりまとめたりする技能を身に付けている。	人類の歴史と地球環境との関わりについて、古代文明、東アジア・中央ユーラシア、南アジア・東南アジア、西アジア・地中海周辺の歴史に関わる諸事象について、海域と内陸にわたる諸地域の交流・交易の広がり、ヨーロッパの進出、アジア諸地域の特質、主権国家体制の形成と地球規模での交易の拡大について、諸資料を比較したり関連付けたりして読み解き、多面的・多角的に考察し、表現している。	世界史へのまなざし、諸地域の歴史的特質の形成、諸地域の交流・再編について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追究しようとしている。		
	5	・古代文明 ・西アジアと地中海 ・仏教とヒンドゥー教					
	6	・秦漢と遊牧国家 ・キリスト教とイスラーム					
	定期考査 ①						
	7	3 諸地域の交流・再編 ・結びつくユーラシア					
	9	・アジア諸地域 ・ヨーロッパの再編					
後期	10	4 諸地域の結合・変容 ・世界市場の形成 ・諸地域の結合	国民国家と近代民主主義社会の形成、世界市場の形成とアジア諸国の変容、世界文化地の進展とナショナリズムの高まり、第一次世界大戦の展開、国際関係の緊張と対立、第二次世界大戦の展開などを構造的に理解している。 紛争解決の取り組みと課題、格差是正の取組と課題、知識基盤社会の展開と課題、地球世界の課題などを理解している。 資料から情報を読み取ったりまとめたりする技能を身に付けている。	国民国家と近代民主主義社会の形成、世界市場の形成とアジア諸国の変容、世界文化地の進展とナショナリズムの高まり、第一次世界大戦の展開、国際関係の緊張と対立、第二次世界大戦の展開に関わる諸事象について、紛争解決の取り組みと課題、格差是正の取組と課題、知識基盤社会の展開と課題、地球世界の課題について、諸資料を比較したり関連付けたりして読み解き、多面的・多角的に考察し、表現している。	諸地域の結合・変容、地球世界の課題について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追究しようとしている。		
	定期考査 ②						
	11	・帝国主義					
	12	・ナショナリズム					
	1	・第二次世界大戦 ・諸地域の変容					
	定期考査 ③						
	2	5 地球世界の課題 ・冷戦 ・脱植民地化と第三世界					
3	・経済のグローバル化 ・科学技術の高度化 ・知識基盤社会						

科目名		公共			単位数	2	履修区分	必修
対象の部		午前部	午後部	夜間部	使用教科書 教材	第一学習社『高等学校 新公共』		
履修の条件								
先生からの アドバイス								
評価の観点		知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学ぶ態度				
観点の内容								
評価 方法								
学期	月	学習内容(单元名)	評	価	規	準		
前 期	4							
	5							
	6							
	7	定期考査 ①						
	9							
後 期	10							
	11	定期考査 ②						
	12							
	1	定期考査 ③						
	2							
	3							

科目名		政治・経済			単位数	2	履修区分	自由選択
対象の部		午前部	午後部	夜間部	使用教科書 教材	実教出版『最新政治・経済』		
履修の条件		「公共」の単位を修得済みであること。						
先生からの アドバイス								
評価の観点		知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学ぶ態度				
観点の内容								
評価 方法								
学期	月	学習内容(单元名)	評	価	規	準		
前 期	4							
	5							
	6							
	7	定期考査 ①						
	9							
後 期	10							
	11	定期考査 ②						
	12							
	1	定期考査 ③						
	2							
	3							

科目名		時事問題		単位数	2	履修区分	自由選択
対象の部		午前部	午後部		使用教科書 教材	ニュービジョン現社 (浜島書店)	
履修の条件							
先生からの アドバイス		マスコミ（新聞・テレビ等）で取り上げられる国内・国際問題等について様々な側面から考えていきたい。また自分にとって興味関心のある問題について、自分なりに深堀して考えをまとめてみましょう。					
評価の観点		知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学ぶ態度			
観点の内容		国内・国外で起きている様々な問題と人間としての在り方・生き方に関わる基本的な事柄を理解し、その知識を身につけている。	現代の社会と人間に関わる事柄から課題を見だし、社会的事象の本質や人間の存在及び価値などについて多面的・多角的に考察し、社会の変化を踏まえ公正に判断して、その過程や結果を適切に表現している。	現代の社会と人間に関わる事柄に対する関心を高め、意欲的に課題を追求するとともに、平和で民主的なよりよい社会の実現に向けて参加、協力する態度を身につけ、人間としての在り方生き方についての自覚を深めようとする。			
評価方法	出席点	○	○	○			
	提出物	○	○	○			
	学習状況の観察	◎	◎	◎			
	定期考査	◎	◎	○			
学期	月	学習内容（单元名）	評価規準				
前期	4	オリエンテーション 時事問題とは	最近の国内・国際問題についての知識を持っている。1つの問題に対し様々な角度からのものの見方を身につけようとしている。	様々な社会問題について、その背景や原因を考察する。またそれについて自分の考えを適切に表現できている。	国内・国際問題に関心を持ち探求しようとしている。また他生徒の発表や意見に興味をもって耳を傾けようとしている。		
	5	レポートの書き方					
	6	最近の出来事					
		定期考査 ①					
	7	税に関する作文					
	9	一般常識					
後期	10	最近の出来事 重要な社会問題	最近の国内・国際問題についての知識を持っている。1つの問題に対し様々な角度からのものの見方を身につけようとしている。	様々な社会問題について、その背景や原因を考察する。またそれについて自分の考えを適切に表現できている。	国内・国際問題に関心を持ち探求しようとしている。また他生徒の発表や意見に興味をもって耳を傾けようとしている。		
		定期考査 ②					
	11	最近の出来事 重要な社会問題					
	12	最近の出来事 重要な社会問題					
	1						
		定期考査 ③					
	2	最近の出来事 重要な社会問題					
3	まとめ						